



OPROARTS Connector for Salesforce ユーザーガイド (Excel ブラウザマッピング /ヘッダー明細)

Ver.1.2

改訂履歴

Ver.	改訂日	改訂内容
1.0	2019/06/19	新規作成
1.1	2020/12/24	「3.2 テンプレートの新規作成」の注意点を追記
1.2	2021/09/06	OPROARTS Designer へのログイン方法について追記

本書に記載されている会社名、製品名、サービス名などは、提供各社の商標、登録商標、商品名です。
なお、本文中に TM マーク、©マークは明記しておりません。

本書の使い方

本資料では、簡単な帳票見本を作成する中で、OPROARTS Connector for Salesforce をご利用するにあたって最低限必要な基本操作手順を理解することを目的としています。

各画面のボタンやコンポーネントの詳細などについては製品ヘルプをご参照ください。

本書の表記

本書では、以下の表記で記載しています。

表記方法	内容
注意	操作上の注意事項について記載しています。
Point	操作上で知っていると便利なポイントについて記載しています。
参照	本書における参照先を記載しています。
[]	ボタン名やタブ名、キーボードのキーなどの表記で使用します。
「 」	システム名、メニュー名、画面名、項目名、参照先などの表記で使用します。

目次

1. はじめに	5
2. 全体の流れ	6
3. テンプレートのデザイン	7
3.1 デザインの作成	8
3.2 テンプレートの新規作成	9
3.3 基本操作の紹介.....	11
3.4 実際に作る	13
4. 項目のマッピング	17
4.1 1st Salesforce へのログイン.....	17
4.2 2nd 起点オブジェクトの選択	18
4.3 3rd 明細オブジェクトの選択.....	18
4.4 4th 明細オブジェクトの詳細.....	19
4.5 5th 関連する子オブジェクトの選択	20
4.6 6th 動的コンポーネントとマッピング.....	20
5. 出力アクションの作成	24
5.1 詳細ページに出力アクションを配置する.....	24
5.2 リストページに出力アクションを配置する.....	31

1. はじめに

ここでは Connector for Salesforce で出力する帳票を作成するにあたって重要となる「ヘッダー明細型」の概念について説明します。

ヘッダー(またはフッター)と明細のある帳票を 2 つのグループに分けて考えます。ヘッダーやフッター部分を「非明細部」と呼びます。それ以外の部分を「明細部」と呼びます。この非明細部と明細部に分けることのできる帳票を、「ヘッダー明細型」と定義しています。

The screenshot shows an Excel spreadsheet with columns A through J and rows 1 through 32. The spreadsheet is divided into two main sections:

- 非明細部 (Non-detailed part):** This section is highlighted in orange and includes the header information (見積書, 見積番号, 発行日), recipient information (送付先株式会社 御中), sender information (日本オプロ株式会社), and the total amount (見積金額 540,000).
- 明細部 (Detailed part):** This section is highlighted in green and includes a table of items with columns for 商品コード (Item Code), 商品名 (Item Name), 単価 (Unit Price), 数量 (Quantity), and 金額 (Amount).

Callouts provide further details:

- 非明細部:** 取引先や住所などのように、帳票上に一度しか表示されない項目が集まる領域。ヘッダーやフッター
- 明細部:** 商品名などといった、帳票によって行数が変わる領域。「繰り返し領域」ともいう。

商品コード	商品名	単価	数量	金額
00001	商品1	100,000	1	100,000
00002	商品2	100,000	1	100,000
00003	商品3	100,000	1	100,000
00004	商品4	100,000	1	100,000
00005	商品5	100,000	1	100,000
		合計		500,000
		消費税		40,000
		総合計		540,000

Salesforce のオブジェクトデータからこのヘッダー明細型帳票を作る場合、

非明細部: 起点となるオブジェクト、または関連オブジェクトのレコード(単一レコード)項目

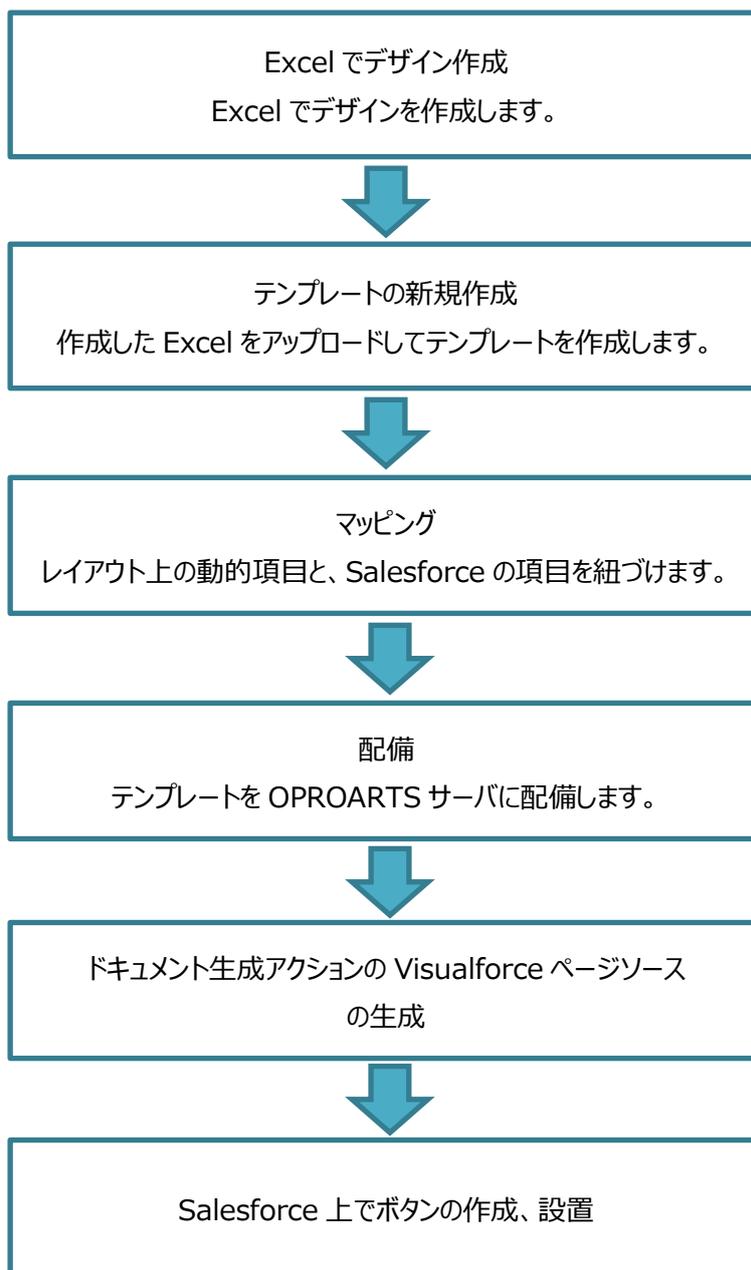
明細部: 起点となるオブジェクトの子オブジェクトのレコード(複数レコード)項目

を用いてそれぞれの部分を埋めることになります。

つまり、非明細部に用いる起点オブジェクトと明細部に用いる子オブジェクトは 1 対 n の関係になります。

2. 全体の流れ

OPROARTS Connector では、以下のような流れで帳票出力が可能になります。



3. テンプレートのデザイン

出力したい帳票の見た目を OPROARTS Live でデザインします。

本ユーザーガイドでは、以下のような Excel 帳票を出力するためのテンプレートを作成します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1							①		
2		サンプル帳票					2019/06/18		
3									
4		サンプル取引先		②					
5									
6		商品名							
7		SLA: Bronze							
8		SLA: Gold							
9		SLA: Platinum							
10		SLA: Silver							
11							③		
12		備考							
13		説明です。							
14		④							
15									
16									
17									
18									
19									
20									

番号	内容
①	帳票出力した日付
②	商談オブジェクトに紐づく取引先名
③	商談オブジェクトの子オブジェクトである商談商品オブジェクトの商品名
④	商談オブジェクトの説明項目

番号を振っていない部分の文言は固定文言です。

任意の文言を配置、もしくは何も配置しなくても問題ありません。

※本テンプレートは帳票テンプレートの構造を理解するため、敢えて非常にシンプルな構成にしています。

Excel での帳票デザインの詳細はこちらをご参照ください。

https://s.oproarts.com/help/contents/ja/designer.html#designer_livexlsff

3.1 デザインの作成

デザインはすべて Excel 上で行います。書式設定や数式、マクロなどをそのまま引き継ぐことができます。ここでは、以下のように Excel シートを作成します。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1									
2		サンプル帳票						(日付)	
3									
4		(取引先名)							
5									
6		商品名							
7		(商品名)							
8									
9		備考							
10		(備考)							
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									

デザインを作成する際の注意点は以下 2 点です。

- ・ アップロードできるセル数は 2500 セルまでですので、セルはできるだけ結合してください。
- ・ デザインに表示される領域は、Excel 上で[Ctrl]+[End]キーを押下した時に選択されるセルと A1 セルの間の範囲になります。この範囲に不要なセル（空欄の行や列）がある場合はできるだけ取り除いてください。
- ・ 数式があるセルにマッピングしても、出力時は数式が保持されます。

その他の制限事項については、以下のヘルプのセクション

- ・ Live, Document Designer for Office 全てに対する制限
- ・ Live Excel の制限(Live for Salesforce, Live Excel) ※Office アドインではなく、ブラウザマッピング版に記載しております。

[Excel/Word/PowerPoint 帳票に関する動作要件と制限事項](#)

3.2 テンプレートの新規作成

OPROARTS Designer にログインし、左上の[新規作成]をクリックします。



Point

セットアップガイドの「3.1 「LAD」ライセンスの登録」の設定ができていれば、「OPROARTS」タブの画面に[START]ボタンが表示されます。

そちらをクリックすることで、ログイン可能です。

文書出力用の認証情報の登録は、以下の手順に従ってください。

1. OPROARTS列のドロップダウンで「出力 (LA)」を選択します。
2. CID列の入力欄に、取得した認証情報のCIDを入力します。
3. 追加ボタンをクリックします。
4. 下のリストに表示されたOPROARTS列の「LA」リンクをクリックして、OPROARTSの詳細ページを開きます。
5. ユーザ列の入力欄の右のボタンをクリックして、Salesforceのユーザを選択します。
6. UID列の入力欄に、取得した認証情報のUIDを入力します。
7. UPW列の入力欄に、取得した認証情報のパスワードを入力します。
8. 追加ボタンをクリックします。
9. 文書出力を許可するユーザについて、手順 5. から 8. までを繰り返します。
10. 各ユーザのプロファイルを編集して、OPROARTSオブジェクトとOPROARTSユーザオブジェクトに対する参照のカスタム

START 新しいウィンドウで OPROART Designer を開始します!

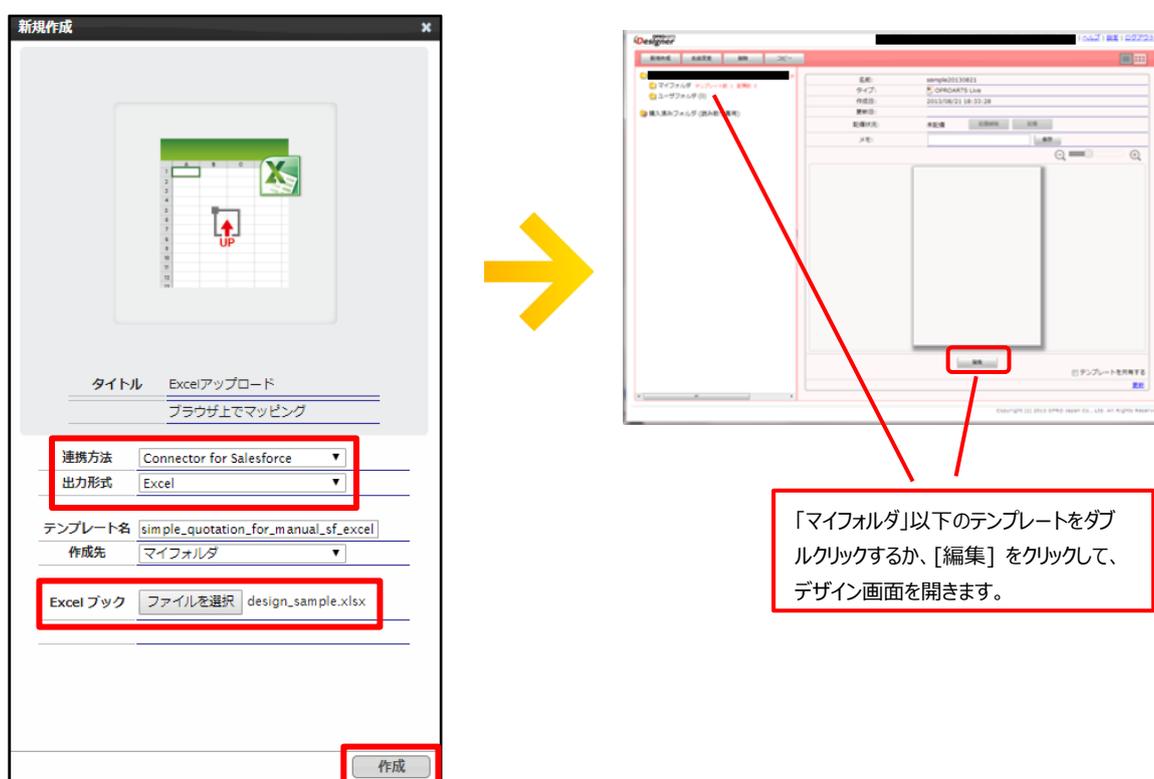
OPROARTS		
アクション	OPROARTS キー	CID

ここでは、[Excel] タブで「Excel アップロード」を選択します。
連携方法「Connector for Salesforce」、出力形式「Excel」を選択してください。

以下のルールに従って任意のテンプレート名を入力してください。

- ・使用できる文字は、英数字とアンダーバー
- ・先頭の文字はアルファベットである
- ・最後の文字がアンダースコアでない
- ・アンダーバーが 2 個以上連続していない

Excel ブックに作成したデザインを選択し、[作成] をクリックします。



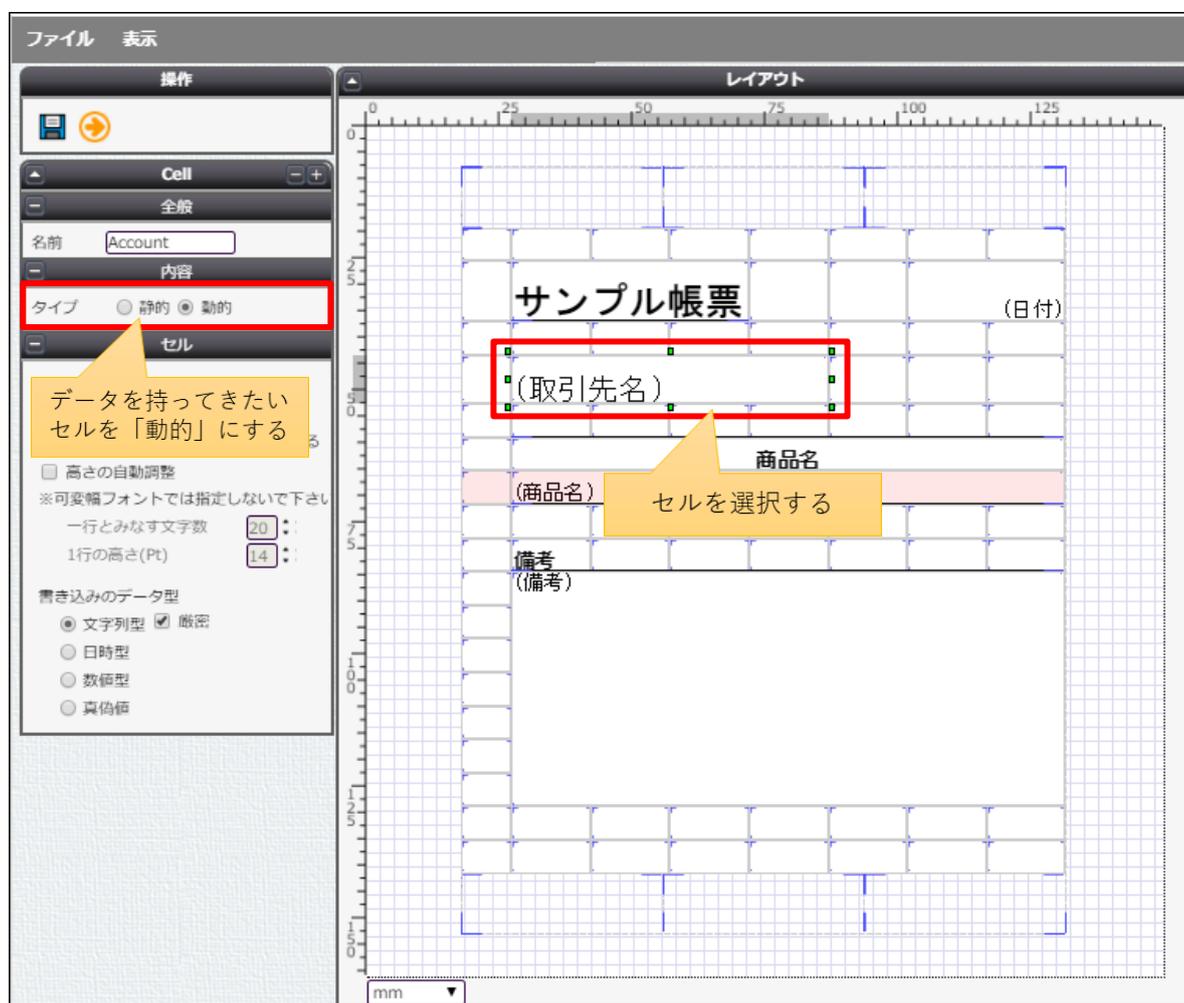
※デザイン上では、Excel の編集を行うことはできません。デザインが完了している Excel をアップロードしてください。
※Excel をアップロード後、シート名を変更することができません。ご注意ください。

3.3 基本操作の紹介

使用する Excel のセル座標に対して、データの挿入を行う仕組みとなっています。そのため、セルの書式設定、関数、マクロ、図形、グラフ、画像がお使いいただけます。グラフや図形など、デザイン上には表示されないコンポーネントがありますが、出力時には表示されます。

データマッピングを行うセルを指定するため

1. レイアウトのセルをクリックして選択し、
2. 画面左の[内容][タイプ]の「動的」を選択します。
静的 …… 固定の文言を表示します。
動的 …… Salesforce のデータを表示します。



また、作成したテンプレートの編集画面でレイアウトをクリックした時に設定できる機能は以下です。

名称	機能
非表示行を処理しない	チェックをいれた場合、非表示行は削除される。
明細の出力行がない場合そのままにする	チェックをいれた場合、明細が一つもない時でも空の明細行を表示する。
条件付き書式を明細に合わせ調整する	チェックをいれた場合、Excel に設定されている条件付き書式を明細すべてに適用する。
データが空の場合はセルを空で上書く	チェックをいれた場合、データが空の時にはセルを空にする。
メタデータ	選択した属性を動的に変更することができる

セルをクリックした時に設定できる機能は以下です。

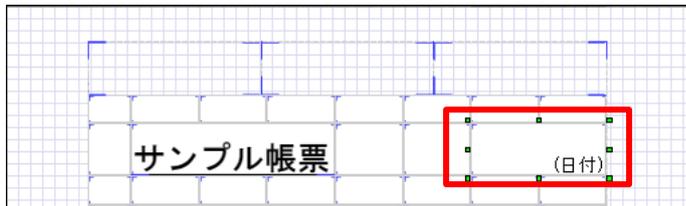
名称	機能
タイプ	「動的」を選択すると、外部データを表示します。
この行をバンドとする	選択されているセルを含む行を明細行とします。
この行をグループヘッダとする	選択したセルを含む範囲をグループヘッダ・フッタとして指定します。 この設定を行うと、マッピング画面でグループキーとなる項目を指定することができ、グループキーの切り替わるタイミングでヘッダ・フッタが表示されます。 バンドの上方をグループヘッダ、下方をグループフッタとして自動的に設定します。
この行をグループフッタとする	同上
グループフッタで改ページ	「この行をグループフッタとする」の設定がされている時のみ指定できます。この設定を行うと、グループフッタが切り替わるタイミングで「改ページの挿入」設定がされます。
高さの自動調整	「折り返して全体を表示する」設定を行います。1 行の文字数を指定する必要があり、等幅フォントのみ対応しています。
書き込みのデータ型	指定したデータ型で Excel に挿入します。セルの書式設定の変更はいたしません。
コンポーネントグループ	マッピング画面のコンポーネントグループの命名を行います。基本的には自動的に設定されます。

3.4 実際に作る

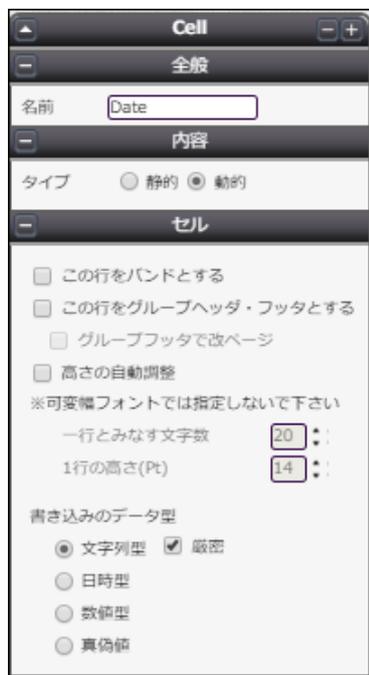
ここでは、実際にデータマッピングを行うセルの指定をします。

1. 日付

帳票を出力した日付を表示したいセルをクリックします。



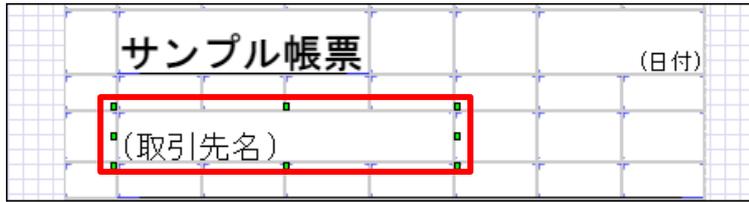
以下のようにプロパティを設定します。



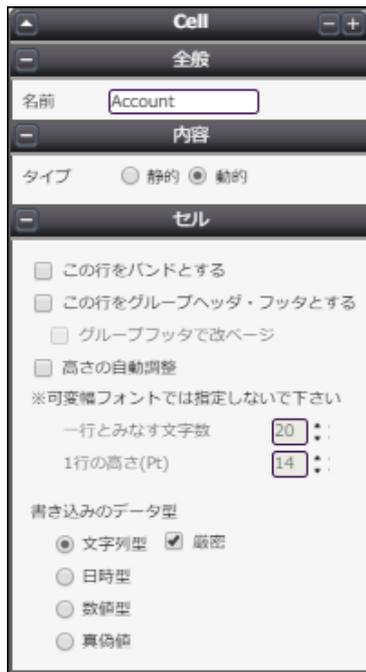
- 名前 : Date
- タイプ : 動的
- 書き込みのデータ型 : 文字型(厳密にチェック)

2. 取引先名

取引先名を表示したいセルをクリックします。



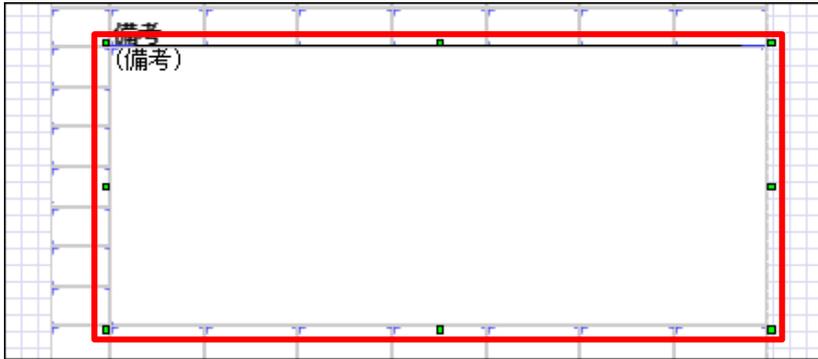
以下のようにプロパティを設定します。



- 名前 : Account
- タイプ : 動的
- 書き込みのデータ型 : 文字型(厳密にチェック)

3. 備考

備考を表示したいセルをクリックします。



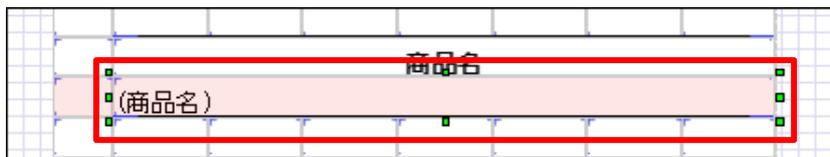
以下のようにプロパティを設定します。



- 名前 : Remarks
- タイプ : 動的
- 書き込みのデータ型 : 文字型(厳密にチェック)

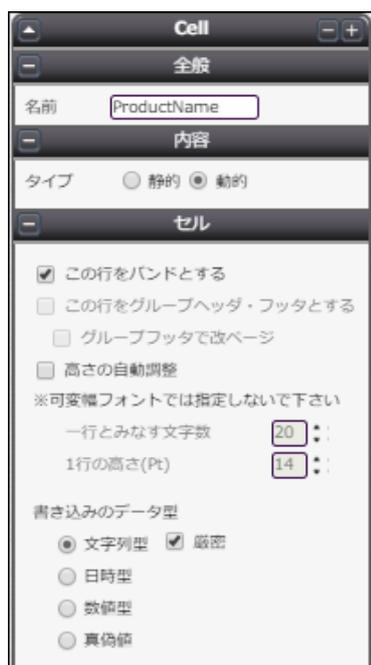
4. 商品名

商品名を表示したいセルをクリックします。



以下のようにプロパティを設定します。

この行は明細行となるので、「この行をバンドにする」にチェックを入れます。



- 名前 : ProductName
- タイプ : 動的
- この行をバンドとする : チェックを入れる
- 書き込みのデータ型 : 文字型(厳密にチェック)

以上の設定が終わったら、保存ボタン(📄)をクリックして、矢印ボタン(➡)でマッピングへ進みます。

4. 項目のマッピング

デザインしたテンプレートに Salesforce の項目をマッピングします。

4.1 1st Salesforce へのログイン

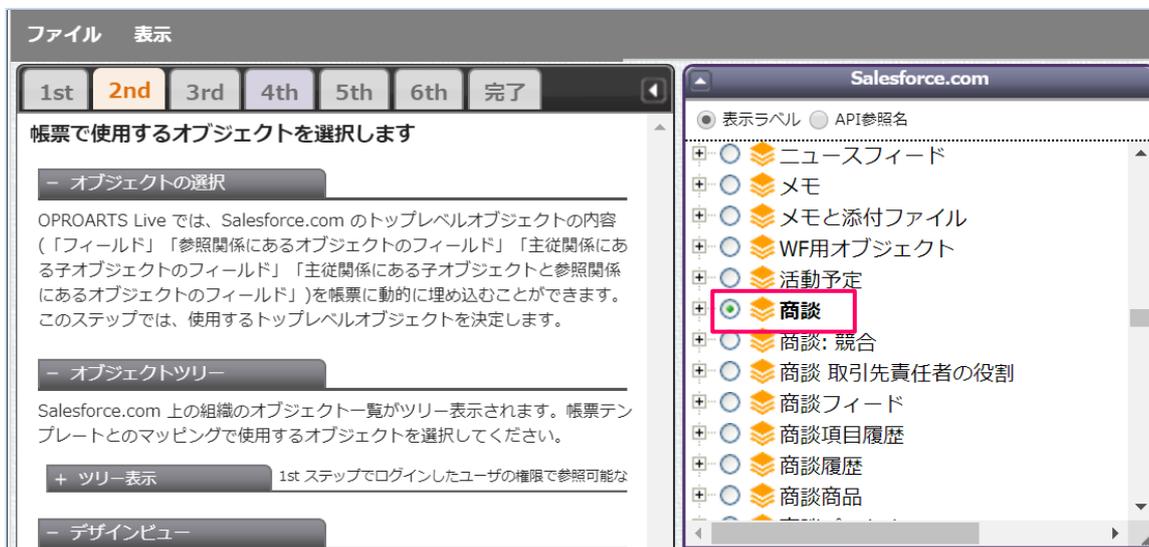
出力したいオブジェクトレコードが存在する Salesforce 組織へログインします。

The screenshot displays the Salesforce login interface. On the left, a progress bar shows steps from '1st' to '完了'. The main content area is titled 'Salesforce.com へログインします' and includes a 'ログイン' section with instructions on how to log in based on user permissions. A red dashed box highlights a note about permissions: '権限について' (Regarding Permissions), stating that object permissions are used for mapping and that users should log in considering their actual permissions. Below this are options for '現在のセッション' (Current Session) and 'OAuth'. A 'デザインビュー' (Design View) section is also visible. On the right, a 'Salesforce.com' login dialog is shown with radio buttons for '現在のログイン状態を引き継ぐ' (Continue with current login state) and '新たにログインする' (Log in anew). The application is set to 'OPROARTS Connector' and there is a 'Login' button.

4.2 2nd 起点オブジェクトの選択

使用するオブジェクトの中で起点となるものを指定します。

ここでは商談オブジェクトを指定します。



4.3 3rd 明細オブジェクトの選択

明細に使用する子オブジェクトを選択します。

ここでは OpportunityLineItems を指定します。



4.4 4th 明細オブジェクトの詳細

明細データの表示順や抽出条件を指定します。

The screenshot displays the Salesforce report configuration interface. On the left, the '4th' step is active, showing instructions for setting object details. A red box highlights the '並び替え' (Sort) section, which states that if not specified, the sort order is undetermined and recommends specifying it. Below this, there are checkboxes for '並び替え' (Sort) and '抽出条件' (Filter). On the right, the 'Salesforce.com' pane shows a tree view of objects. 'PricebookEntry' is expanded, and '商品名' (Product Name) is selected. A red box highlights '商品名' in the tree. At the bottom of the right pane, the '抽出条件' (Filter) section is set to '並び替え' (Sort), with a text box containing 'PricebookEntry.Name ASC'.

ここでは明細の並び替えで商品名(※)を昇順指定しています。

並び替え対象の項目を「並び替え」の欄にドラッグ&ドロップしたのち、

昇順: ASC

降順: DESC

を末尾に追加することで指定可能です。

※「価格表エントリ ID」のフォルダー左横にある[+]をクリックすることで階層ツリーが展開され、「商品名」項目が表示されます。

4.5 5th 関連する子オブジェクトの選択

関連リストの指定をします。

明細以外の子オブジェクトの選択、抽出条件、並び順の指定が可能です。

この設定は省略可能です。

The screenshot shows a software interface with a top navigation bar containing buttons for '1st', '2nd', '3rd', '4th', '5th' (highlighted), '6th', and '完了'. Below the navigation bar, the main area is split into two panes. The left pane is titled '関連する子オブジェクトを選択します' and contains two sections: '関連する子オブジェクト' with explanatory text about OPROARTS Live and object relationships, and 'オブジェクトツリー' with instructions on how to use the tree view. The right pane is titled 'Salesforce.com' and shows a tree view of objects under '商談' (Opportunity), including '子オブジェクト' (Child Objects) with a list of items like AccountPartners, ActivityHistories, Attachments, etc.

4.6 6th 動的コンポーネントとマッピング

デザイン画面で動的項目に設定したラベル名がマッピングの項目で表示されます。

各ラベルについて、表示したい項目を選択します。

フィールド マッピング		
コンポーネント	タイプ	データ
Date	Cell	TODAY()
Account	Cell	Opportunity.Account.Name
ProductName	Cell	OpportunityLineItems.PricebookEntry.Name
Remarks	Cell	Opportunity.Description

■ 日付

The screenshot shows the Salesforce Field Mapping interface. On the left, the 'API参照名' (API Reference Name) pane is open, showing a tree view with '商談' (Opportunity) selected. Below it, the 'フォーマット' (Format) pane shows '日付時刻の形式' (Date and Time Format) with 'yyyy/MM/dd' selected. The '式' (Formula) pane shows 'システム関数' (System Functions) with 'TODAY()' selected. The main 'フィールド マッピング' (Field Mapping) table is as follows:

コンポーネント	タイプ	データ	フォーマット
Date	Cell	TODAY()	yyyy/MM/dd
Account	Cell	Opportunity.Account.Name	
ProductName	Cell	OpportunityLineItems.PricebookEntry.Name	
Remarks	Cell	Opportunity.Description	

An '編集' (Edit) dialog box is open, showing 'データ' (Data) as 'TODAY()' and 'フォーマット' (Format) as 'yyyy/MM/dd'. A 'デザイン ビュー' (Design View) window is also visible in the bottom right corner.

式>システム関数>TODAY()を「編集」パネルの「データ」にドラッグ&ドロップします。

フォーマット>日付時刻の形式>「yyyy/MM/dd」を「編集」パネルの「フォーマット」にドラッグ&ドロップします。

■ 取引先名

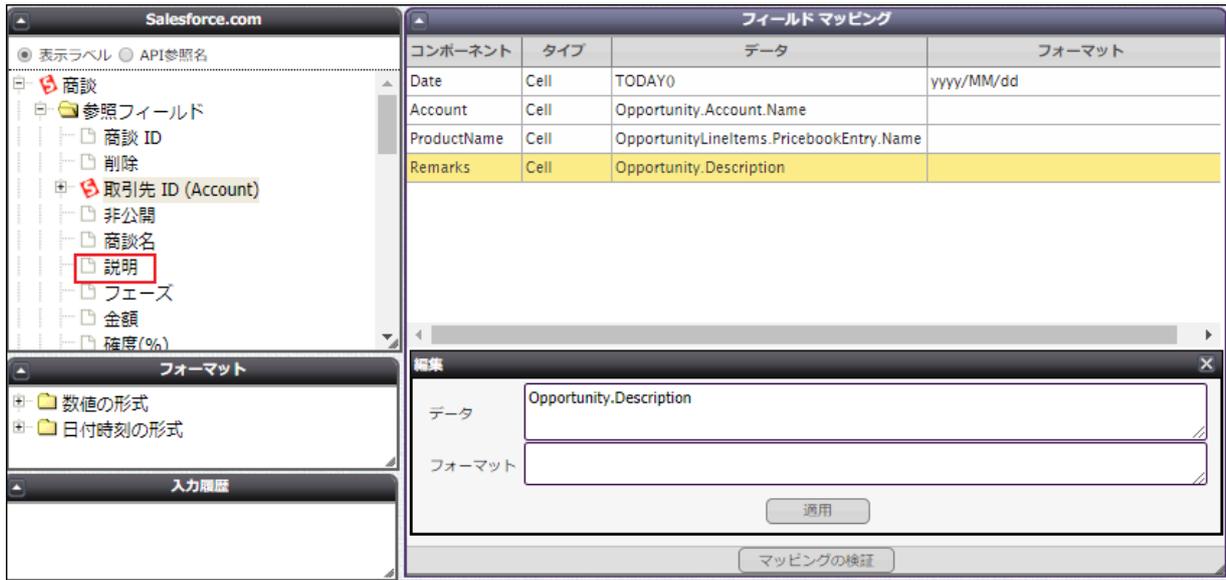
The screenshot shows the Salesforce Field Mapping interface. On the left, the 'API参照名' (API Reference Name) pane is open, showing a tree view with '商談' (Opportunity) selected. Below it, the 'フォーマット' (Format) pane shows '日付時刻の形式' (Date and Time Format). The main 'フィールド マッピング' (Field Mapping) table is as follows:

コンポーネント	タイプ	データ	フォーマット
Date	Cell	TODAY()	yyyy/MM/dd
Account	Cell	Opportunity.Account.Name	
ProductName	Cell	OpportunityLineItems.PricebookEntry.Name	
Remarks	Cell	Opportunity.Description	

An '編集' (Edit) dialog box is open, showing 'データ' (Data) as 'Opportunity.Account.Name' and 'フォーマット' (Format) as empty. A 'デザイン ビュー' (Design View) window is also visible in the bottom right corner.

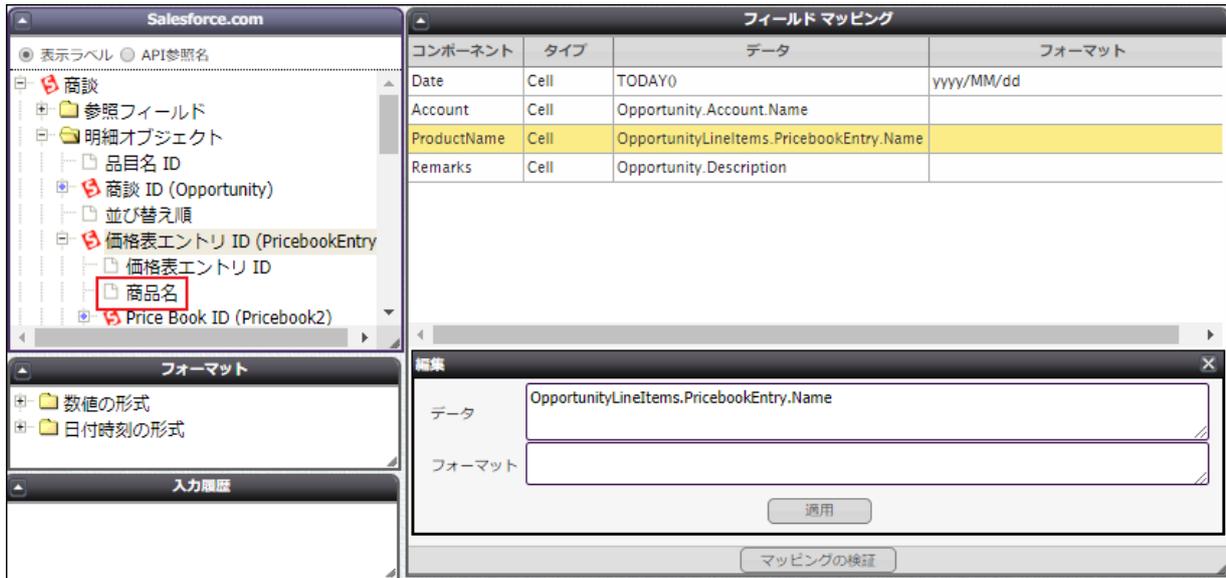
参照フィールド>「取引先 ID」>「取引先名」を「編集」パネルの「データ」にドラッグ&ドロップします。

■ 備考



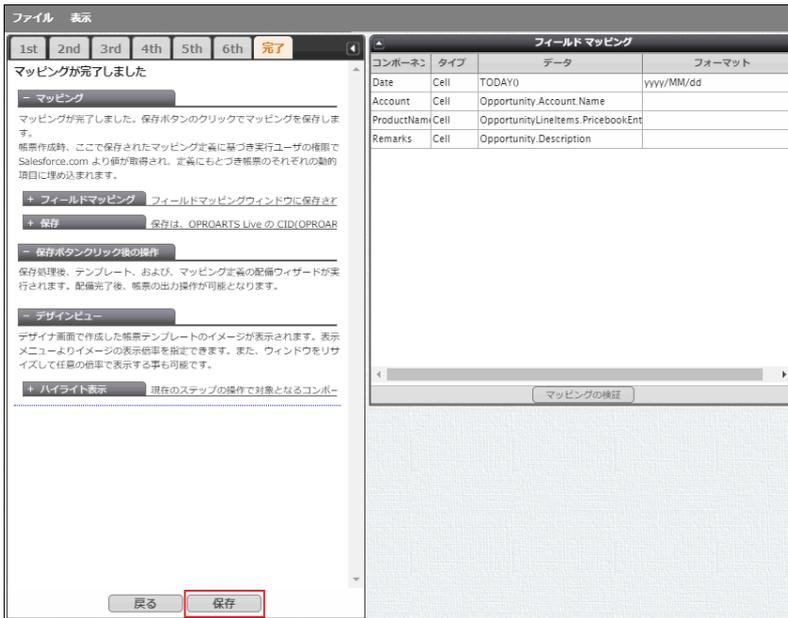
参照フィールド>「説明」を「編集」パネルの「データ」にドラッグ&ドロップします。

■ 商談商品名

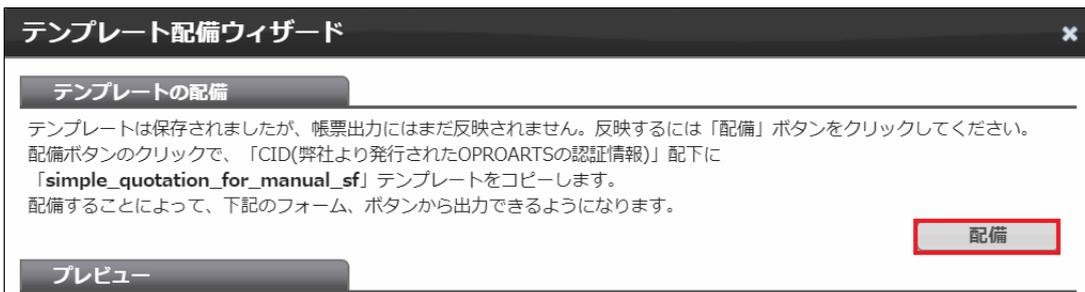


明細オブジェクト>「価格表エントリ ID」>「商品名」を「編集」パネルの「データ」にドラッグ&ドロップします。

マッピングが完了したら[次へ]をクリック、その後[保存]をクリックし、



テンプレート配備ウィザードにて[配備]をクリックしてテンプレートを帳票出力に使用できる状態にします。



※テンプレートの編集をした際も、必ず[配備]をクリックしてください。配備をしないと変更点が帳票出力に反映されません。

5. 出力アクションの作成

Salesforce のレコード画面から帳票を出力するアクションを作成します。

Salesforce のレコード画面から Connector for Salesforce で帳票出力をするためには、出力をリクエストするアクションを Salesforce 上に作成する必要があります。

ここでは、1. 詳細ページに出力アクションを配置する場合と、2. リストページに出力アクションを配置する場合を説明します。

5.1 詳細ページに出力アクションを配置する

1. テンプレート配備ウィザードの「出力アクションの作成」で[生成]ボタンをクリックします。

※サンプルテンプレートは商談情報をマッピングしているので、商談に出力アクションを設置します。

The screenshot shows the 'Template Configuration Wizard' (テンプレート配備ウィザード) interface. It is divided into several sections:

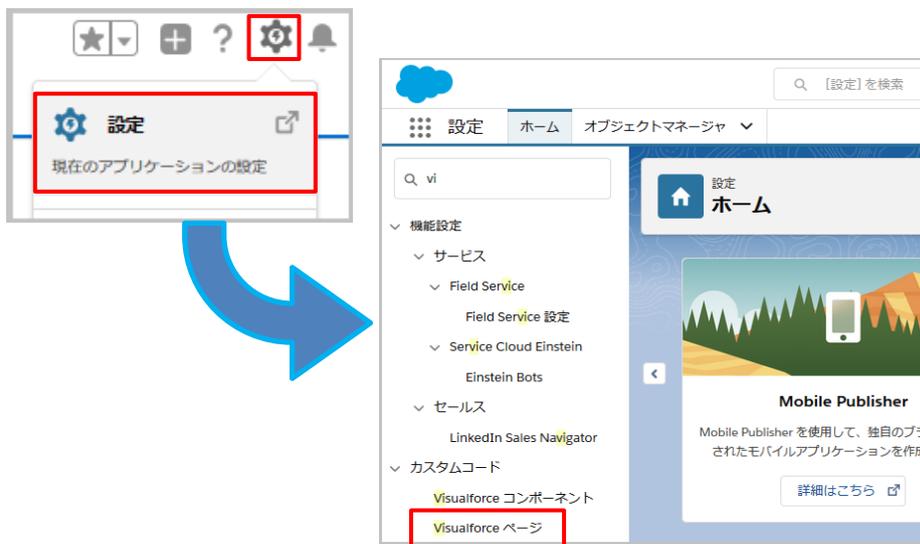
- 出力ボタンの作成 (Output Button Creation):** Includes a preview table with columns for ID, Name, and Description. Below the table is a 'プレビュー' (Preview) button and instructions to click '生成' (Generate) if there are issues.
- ドキュメントの添付 (Document Attachment):** Radio buttons for 'する' (Yes) and 'しない' (No).
- 活動履歴の登録 (Activity History Registration):** Radio buttons for 'する' (Yes) and 'しない' (No).
- ファイル名 (File Name):** A text input field for download, attachment, and activity history file names.
- ボタンの設置場所 (Button Placement):** Radio buttons for 'リストページ' (List Page) and '詳細ページ' (Detail Page).
- 出力アクションの作成 (Output Action Creation):** This section is highlighted with a red box. It includes instructions to click '生成' (Generate) and a '生成' button at the bottom right, also highlighted with a red box.

2. 表示されたソースを全選択してコピーします。

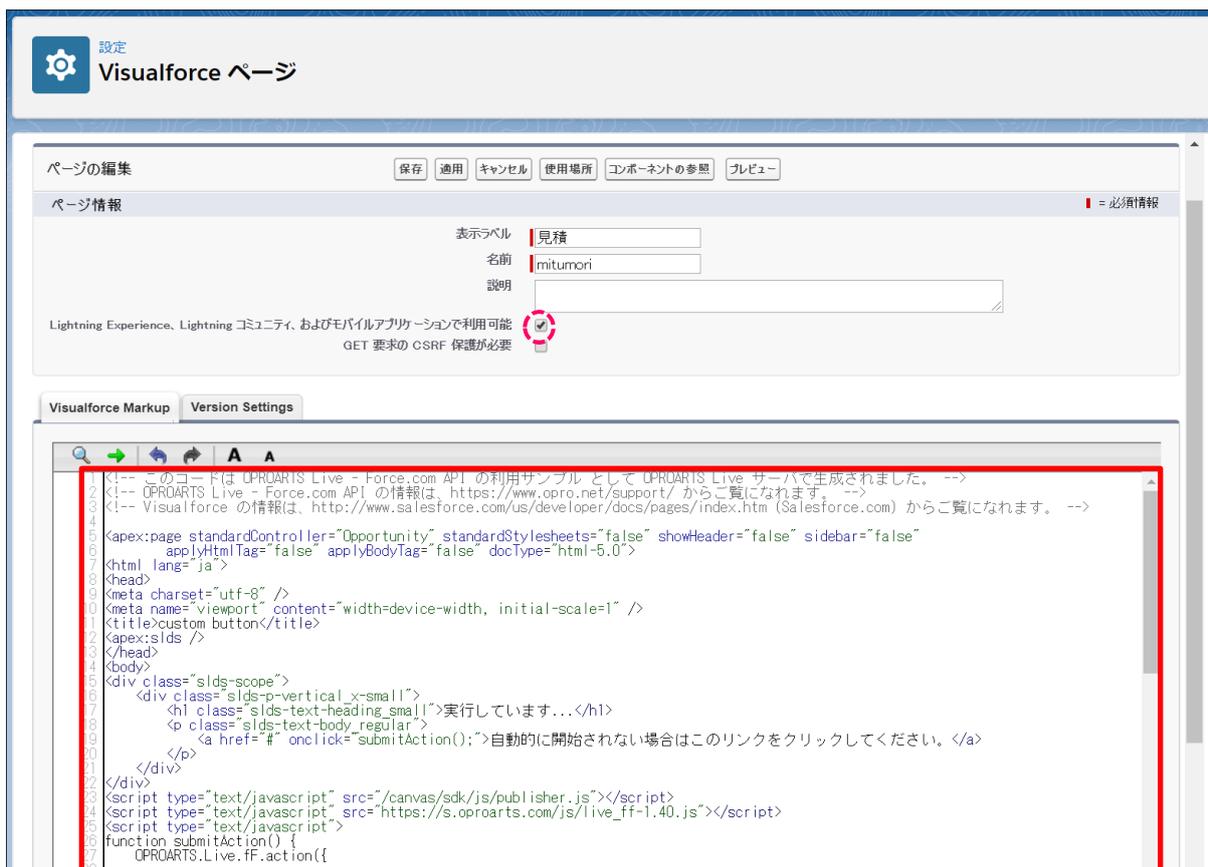
```
<!-- このコードは OPROARTS Live - Force.com API の利用サンプル として OPROARTS Live サーバで生成されました。 -->
<!-- OPROARTS Live - Force.com API の情報は、https://www.opro.net/support/ からご覧になれます。 -->
<!-- Visualforce の情報は、http://www.salesforce.com/us/developer/docs/pages/index.htm (Salesforce.com) からご覧になれます。 -->

<apex:page standardController="Opportunity" standardStylesheets="false" showHeader="false" sidebar="false"
  applyHtmlTag="false" applyBodyTag="false" docType="html-5.0">
<html lang="ja">
<head>
<meta charset="utf-8" />
<meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1" />
<title>custom button</title>
<apex:slds />
</head>
<body>
<div class="slds-scope">
  <div class="slds-p-vertical_x-small">
    <h1 class="slds-text-heading_small">実行しています...</h1>
    <p class="slds-text-body_regular">
      <a href="#" onclick="submitAction();">自動的に開始されない場合はこのリンクをクリックしてください。</a>
    </p>
  </div>
</div>
</div>
<script type="text/javascript" src="/canvas/sdk/js/publisher.js"></script>
<script type="text/javascript" src="https://s.oproarts.com/js/live_ff-1.40.js"></script>
<script type="text/javascript">
function submitAction() {
  OPROARTS.Live.FF.action({
    // tp: 配備済みテンプレートの名称を指定します。複数指定することもできます。
    // このパラメータを省略することはできません。
    // ※ 出力形式がExcelブックやWord文書の場合、テンプレート作成時に指定したエクセルブックの拡張子を付与してください。
    tp:
  }
}
```

3. 設定>カスタムコード>Visualforce ページを選択します。



4. [新規]ボタンをクリックし、下記のように設定して[保存]ボタンをクリックします。



表示ラベル(例)

見積

名前(例)

mitumori

「Lightning Experience～」

チェックを入れる

内容

2 でコピーした内容

5. アクションを設置するオブジェクトを選択して、設定の[オブジェクトを編集]をクリックします。



6. [ボタン、リンク、およびアクション]を選択して、[新規アクション]をクリックします。



7. 下記のように設定して[保存]ボタンをクリックします。

商談 アクション
新規アクション

アクション情報を入力 保存 キャンセル

オブジェクト名 商談 i

アクション種別 カスタム Visualforce

Visualforce ページ 見積 [mitumori] i

高さ 250 ピクセル i

標準の表示ラベル種別 --なし-- i

表示ラベル

名前 i

説明 i

アイコン ⚡ アイコン変更

保存 キャンセル

アクション種別

カスタム Visualforce を指定

Visualforce ページ

4 で作成した Visualforce ページ を指定

高さ

変更なし

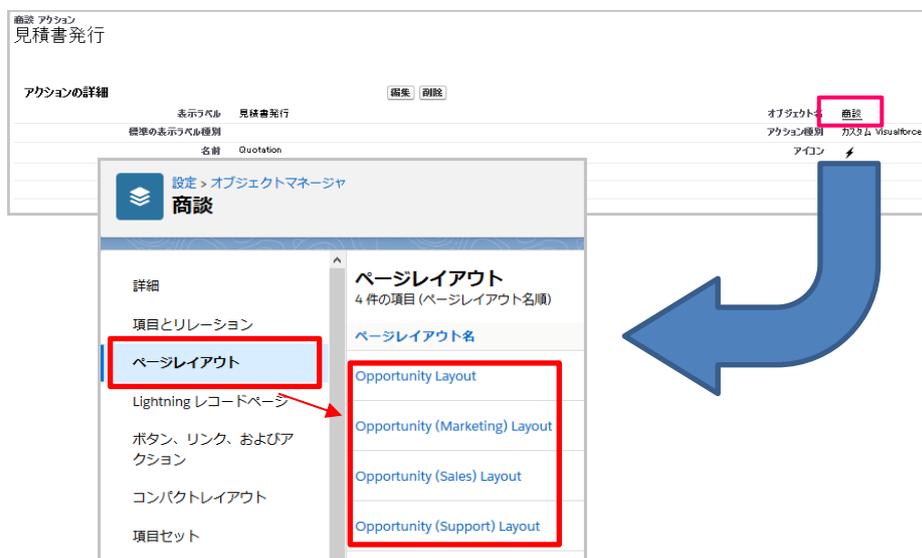
表示ラベル(例)

見積書発行

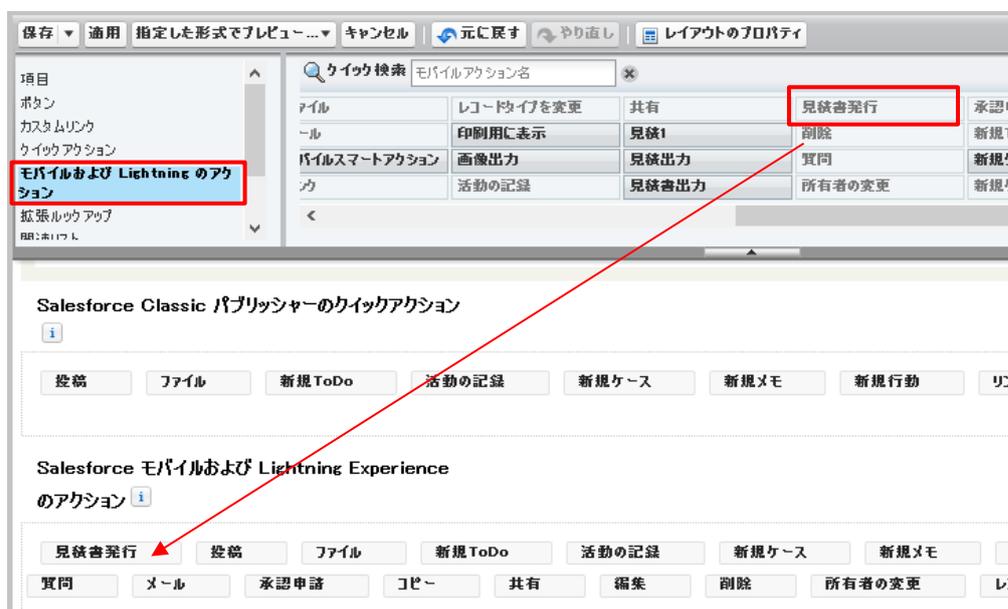
名前(例)

Quotation

- 設定 > オブジェクトマネージャ > 商談画面に戻り、[ページレイアウト]をクリックし、ボタンを表示させたいページレイアウトの[編集]リンクをクリックします。



- レイアウト編集画面の「モバイルおよび Lightning のアクション」メニューをクリックし、7 で作成したボタンを「Salesforce モバイルおよび Lightning Experience」セクションにドラッグ & ドロップします。



10. [保存]ボタンをクリックしてレイアウトを保存します。



11. 商談詳細ページにアクションが表示されていることを確認します。



5.2 リストページに出カアクションを配置する

1. テンプレート配備ウィザードダイアログのリストページを指定して[生成]ボタンをクリックし、表示されたソースをコピーします。

テンプレート配備ウィザード

商談 ID	取引先 ID,取引先名	説明
0060e00001 G5X7YAAV	サンプル取引先	説明です。
0060e00001 JmsN8AAJ	サンプル取引先	
0060e00001 JmsN8AAJ	サンプル取引先	

プレビュー

出力ボタンの作成

プレビューに問題がなければ、[生成]ボタンをクリックして「OnClick JavaScript ソース」を作成してください。

手順を表示

ドキュメントの添付

生成されたドキュメントのオブジェクトへの添付: する しない

活動履歴の登録

生成されたドキュメントを活動履歴に登録: する しない

ファイル名

ダウンロード・添付・活動履歴のファイル名:

ボタンの設置場所

ドキュメント出力ボタンを設置するページの種類: リストページ 詳細ページ

生成

出力アクションの作成

カスタムボタンが表示されない環境向けに、アクションを作成することも可能です。
[生成]ボタンをクリックして「Visualforce ページソース」を作成してください。

手順を表示

ドキュメントの形式

出力するドキュメントの形式: Excel

ドキュメントの添付

生成されたドキュメントのオブジェクトへの添付: する しない

活動履歴の登録

生成されたドキュメントを活動履歴に登録: する しない

ファイル名

ダウンロード・添付・活動履歴のファイル名:

ボタンの設置場所

ドキュメント出力ボタンを設置するページの種類: リストページ 詳細ページ

生成

2. 詳細ページの出力アクション 2~6 の手順を行い、「カスタムボタンまたはカスタムリンク」の編集画面へアクセスし、下記のように設定して[保存]ボタンをクリックします。

商談のカスタムボタンまたはカスタムリンクの編集
見積書一括発行

カスタム ボタンまたはカスタムリンクの編集

表示ラベル

名前

説明

表示の種類

詳細ページリンク サンプルを表示

詳細ページボタン サンプルを表示

リストボタン サンプルを表示

チェックボックスの表示 (複数レコード選択用)

動作

内容のソース

コンテンツ

表示ラベル(例)

見積書一括発行

名前

QuotationPackage

表示の種類

リストボタン を指定

チェックボックスの表示(複数レコード選択用) にチェック

動作

現在のウィンドウにサイバー付きで表示 を指定

内容

コンテンツ→作成した Visualforce ページを指定

3. 設定> オブジェクトマネージャ> 商談画面の[Salesforce Classic の検索レイアウト]をクリックし、リストビューの[編集]リンクをクリックします。

※ [Salesforce Classic の検索レイアウト]メニューがない場合、[検索レイアウト]メニュー内のリストビューを編集します。

設定 > オブジェクトマネージャ
商談

検索レイアウト
5件の項目 (レイアウト順)

レイアウト	表示される列	表示されるボタン
タブ	商談名, 取引先名, 完了予定日	N/A
リストビュー	N/A	Quip で開く, 新規, 印刷用に表示, 商談一覧発行Excel, 見積書一括メール送信, 商談一覧Word, 見積書一括発行
ルックアップダイアログ	商談名, 取引先名, 取引先 部門	N/A
ルックアップ電話ダイアログ	商談名, 取引先名, 取引先 部門	N/A
検索条件項目	N/A	N/A

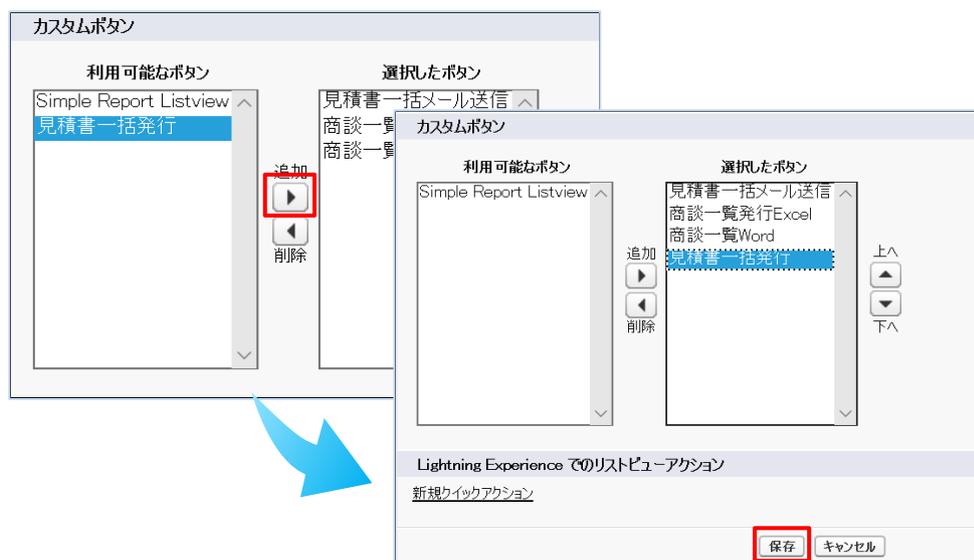
検索レイアウト

Salesforce Classic の検索レイアウト

発行,

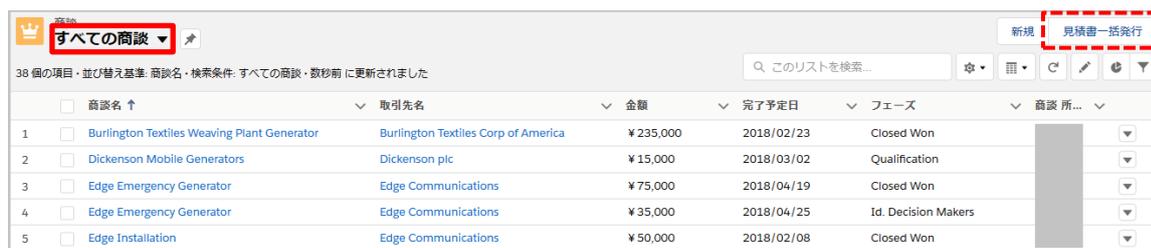
編集

4. 2 で作成したアクションを選択して[追加]ボタンをクリックし、保存します。



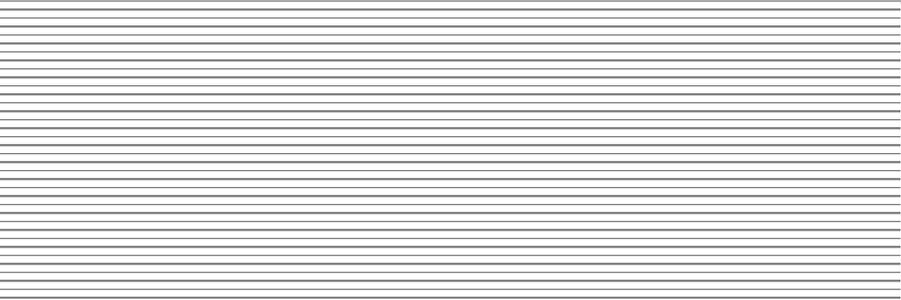
5. リストビューページにアクションが表示されていることを確認します。

※「すべての商談」を選択してください。



※補足

リストビューから帳票出力した場合、詳細ページから出力できる Excel ブックが画面に表示されているレコードすべてについて生成され、1つのアーカイブファイルにまとめられて出力されます。



OPROARTS Connector
for Salesforce
ユーザーガイド
(Excel ブラウザマッピング
/ヘッダー明細)

